

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

岐阜県立揖斐高等学校

学校番号

19

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する。 (2) 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 (3) 地域社会の向上に貢献できる人間を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇教務部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も新型コロナウイルス感染症予防、気象警報による臨時休校などで、すぐメールをよく利用した。生徒・保護者ともにほとんど登録済である。一斉配信メールサービスは有効に活用されているという項目では、92%という一番高い肯定的な評価となった。</li> <li>・オンライン授業を行い、生徒の理解を高めようとしているという項目では、肯定的な回答が82%であった。今後も、オンライン授業の指導方法を研究していく必要がある。</li> <li>・学校の教員は、わかる授業を目指し、授業改善に努めているという項目で、例年より肯定的な回答が大幅にマイナスとなった。保護者は、より学校に期待している結果となった。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	1 教科指導 (1) 生徒の実態に応じた指導計画の作成 (2) 基礎基本内容の習得と主体的な学習態度の育成 (3) 創意工夫のある授業の実践 2 今後も継続発展させる職員の体制 (1) 授業規律確立に十分配慮しかつ家庭学習に支えられた授業展開 (2) 諸活動に対する教職員の協力体制の充実 (3) 学力の向上に向けた教職員の組織的対応の推進 (4) 学習習慣の確立への支援 (5) 「総合的な探求の時間」実施に関する企画・調整 3 コンピュータを活用した校務処理の体系化 (1) 校内ネットワークに関するセキュリティの向上 4 情報発信 (1) 電子メディアによる情報発信(HP、携帯連絡メール配信システム) (2) 活字メディアによる情報発信(学校案内等の編集) (3) 本校に関する報道記事の収集と保存 5 連携型中高一貫教育の充実 (1) 西濃地区連携型中高一貫教育事業の推進	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・教育課程委員会      ・教科書選定委員会      ・補助教材選定委員会 ・総合的な探究の時間推進委員会      ・学習成果発表会実行委員会	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 年間指導計画の作成依頼、集約 学期末、授業改善への取組の検証及び反省 の記録の依頼集約 (2) 連休課題等を早めに配布することで、学習 習慣の確立への支援を行うことができた。 (3) 「授業改善研修会」の実施 (4) 情報セキュリティ意識の向上 (5) メール配信システムへの登録状況向上 (6) HP更新(揖斐高Topics、各種通信など)	(1) 年間指導計画の作成に関して各教科への確に依頼で きたか。 (2) 適切な配布時期で実施することができたか。 (3) 授業改善にむけて、テーマに合わせた研修が実施で きたか。 (4) チェックシートを定期的の実施し、セキュリティ意 識の変革ができたか。 (5) 登録が適切に行われ、登録者の増加に繋がったか。 (6) 情報発信が滞りなくできているか。	

<p>新聞記事の許諾申請・掲示  (7) 町教委、連携中学校、本校と連携行事  (中高一貫教育事業)の調整  (8) ICTを活用した授業への取組</p>	<p>(7) 連携についての課題を解決しながら、行事を進める  ことができた。  (8) ICTを活用して授業の改善ができたか。</p>	
<p>8 取組状況・実践内容等</p> <p>①年間指導計画の作成依頼・集約と学期末授業  改善のための反省記録の依頼集約  ②学習習慣の支援を行うために連休課題を早め  に配布  ③「授業アンケート」の実施による生徒の状況  把握、改善実践状況の交流  ⑤配信メールの登録と帰宅確認訓練の実施</p> <p>⑥HPの更新、記事の掲載及び許諾申請の提出  などの実施  ⑦連携行事のスムーズな運営</p> <p>⑧他分掌との連携と学校行事の遂行</p> <p>⑨ICTを活用した授業の改善</p>	<p>9 評価視点</p> <p>①各教科に的確に依頼できたか。  ②適切な配布時期に実施できたか。  ③授業改善に活かせることができた  か。  ⑤登録者数と回答率が向上したか。</p> <p>⑥更新頻度。すみかやな記事の掲示  ができたか。  ⑦課題を解決しながら運営できた  か。  ⑧学習支援、教科・分掌との連携が  できたか。  ⑨ICTを効果的に取り入れると  ともに、授業の改善ができたか。</p>	<p>10 評価</p> <p>A (B) C D  (A) B C D  (A) B C D  (A) B C D  A (B) C D  A (B) C D  A B (C) D  (A) B C D</p>
<p>11  成果  ・  課題</p>	<p>①〇昨年度の反省を生かし、スムーズに集約できるようになり、よかった。来年  度からは、新教育課程となり、様式も変更となる。早めに職員に周知し、準  備をすることができた。</p> <p>②〇長期休業課題を保護者懇談時に配布し、早期に知らせることができた。</p> <p>③〇生徒が普段思っていることを聞く良い機会であり、授業改善の足がかりに  なった。MicrosoftFormsを利用することで、効率よく集計することができた。  2回目の実施が遅くなってしまった。</p> <p>④〇グループウェアのアンケートを使い、効率的に解答できた。</p> <p>⑤〇今年度もすぐメールを多く活用した。急なオンライン授業への変更などにも  対応することができた。ほぼすべての生徒の登録ができ、慣れてきた。  〇1年生の保護者には、合格者説明会で説明を行い順調に登録できた。  ▲帰宅確認を保健安全部と連携して昨年は3回おこなったが、今年は複数回で  きななかった。  〇生徒指導部からの「心のアンケート」も毎月実施し、ほぼ全員から回答を  得ることができた。</p> <p>⑥〇HPや新聞記事を更新し、取材依頼及び許諾もスムーズに実施できた。学校  紹介の動画も掲載することができ、本校のよいアピールとなった。  ▲カレンダーの更新が遅れた月があった。  ▲更新や、新しいレイアウトやページを作ることについて研究が必要である。</p> <p>⑦〇2年ぶりに中高連携行事が復活した。コロナ禍ではあったが、連携中学生  のキャリア教育の一端となったと思う。  ▲谷汲中学校との授業交流の研究が必要である。</p> <p>⑧〇オンライン授業が充実してきた。全職員が補助なしでオンライン授業の配信  もできる。新型コロナ感染症予防で出席停止の生徒にも授業をそのまま配信  し、学習の機会を確保することができた。</p> <p>⑨〇ICT機器を活用し、オンライン授業を積極的に行った。全職員でICT研  修会を実施できた。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A (B) C D</p>

	<p>▲ I C Tの活用が一部の先生に偏っている。 ▲頻繁に利用しているためか、タブレットの破損が多くなってしまった。</p>	
12	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新教育課程の実施、3観点の評価や、新科目について研究していく。</li> <li>・年間指導計画作成について記入の方法等についての徹底</li> <li>・課題の依頼方法と、課題を出す時期についての検討</li> <li>・授業アンケートの取り組み方について、クラス数や人数について検討が必要。</li> <li>・メールの登録をPTA総会や保護者懇談会など定期的に促し、帰宅確認に対する指導の徹底</li> <li>・HPの効果的な活用について検討</li> <li>・中高一貫教育について、年度初めに共通理解を図るとともに、授業交流について詳細を計画</li> <li>・連携中学校との課題について解決方法を見つけるとともに、行事への継続的な参加の依頼</li> <li>・行事の際の教務内の役割分担などを再考し、他の分掌や学年と連携のあり方を検討</li> <li>・校内研修を実施し、I C Tの活用拡大に努めて授業改善につなげる</li> <li>・生徒一人1台タブレットの運用、授業や家庭での活用方法の研究</li> </ul>	

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月17日

<p><b>【意見・要望・評価等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の対応で、ICTの活用、オンライン授業等の充実が図られている。全職員によるICT研修を継続し、教科指導に生かせる能力をさらに高めたい。</li> <li>・ICTを活用した授業を積極的に取り入れ、授業の改善への取り組みが積極的になされているのが理解できた。連携中学校ICTを活用した連携、授業交流が可能になるとよいと感じた。</li> <li>・コロナ禍でのご苦労が絶えなかったと思う。ネット環境が有効活用されている点が素晴らしい。</li> <li>・生徒の実態をつかみ、生徒がわかる、できる喜びを味わえる授業をすることで、自ら学び、考え、行動する生徒に育つと思う。</li> <li>・連休課題を早めに配布することは生徒が早めに課題に取り組むことができるので良いことだと思う。</li> <li>・ホームページの各種通信について学年でばらつきがないように更新してほしい。</li> <li>・成人年齢が引き下げられることに伴い、学校での消費者教育の指導方法を知りたい。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

岐阜県立揖斐高等学校

学校番号

19

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する。 (2) 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 (3) 地域社会の向上に貢献できる人間を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇生徒指導部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	「迷惑調査」と「教育相談週間」については、年間3回実施している。今年度は「いじめ」の訴えはなかったが、人間関係のトラブルを事態が悪化する前に解決することができた。情報モラルに関するトラブルは一件あった。自己理解や他者理解の力を育てる取組は今後検討していく必要がある。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	1 基本的な生活習慣確立の徹底 (1) 欠席・遅刻の防止対策 2 生命尊重の態度と人権意識の伸長の徹底 (1) 交通安全指導 (2) 生命や自他の生活を大切にできる生徒の育成 3 規範意識の醸成 (1) ルールの遵守とマナーの向上にむけた指導 (2) 問題行動の未然防止に努める (3) SNSの活用改善に向けての指導	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・生徒指導委員会      ・いじめ防止対策委員会 ・人権教育委員会	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 校門あいさつ指導 (2) 通学路立哨指導、交通安全教室 (3) 情報モラル教室、全校集会での啓発、養老鉄道乗車指導	(1) 遅刻者数の前年度比 (2) 交通事故発生件数の前年度比 (3) 問題行動発生件数の前年度比	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・校門あいさつ指導はできなかったが、検温の際コミュニケーションを取ることができた。MSリーダーズによる交通指導などは協力も得られ実施している。 ・通学路立哨指導は通学路の見直しを含め年度・月当初に実施しており、鉄道乗車指導は今年度は行わなかった。 ・交通講話、情報モラル講話、人権講話などの啓発活動も、全校生徒対象に実施している。	① 遅刻者減少 (647→503) 欠席者数増加 (1570→1624) 早退者数増加 (317→347) ② 交通事故増減なし (6→6) (自動車同乗事故1件含む) ③ 問題行動件数増加 (学校反省) 5→8 1月31日現在	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○心に不安を抱えている生徒が多くおり、不登校傾向の生徒が欠席を繰り返している。しかし、中には遅刻しても登校しようとする生徒や、別室から出て授業を受けに行ける生徒もいた。また遅刻者と早退者は減少しているが、欠席者が増加しているため、学校生活を最後まで全うさせる指導の工夫も必要である。 ○交通事故が減少した。ただワイヤレスのヘッドホンを着用した状態での運転など、指導を強化していく必要がある。また交差点での一旦停止違反が多く、交通マナー指導の強化が必要である。 ▲欠席者、早退者が増加している背景にはコロナへの恐れなどもあると考えられるが、無理に登校させることも難しいので、指導が難しい。	
		総合評価 A (B) C D

## 12 来年度に向けての改善方策案

- ・新入生に対する適応指導を充実させる。
- ・いじめ未然防止についての研修の機会をもつ。
- ・遅刻者への罰則の導入
- ・情報モラルに関する問題点を丁寧に説明する機会を多く設ける。

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月17日

### 【意見・要望・評価等】

- ・コロナ禍で心に不安を抱えている生徒が多いことは理解できる。心のケアをお願いしたい。
- ・いじめの訴えがなかったことはよかった。今後も心のアンケートなどでアンテナを高く張り、いじめ防止に努めてほしい。
- ・いじめの訴えはなかったが、ネット社会でもあり、水面下の動きにも注意をはらってほしい。
- ・学生の投稿について調査する企業もあるので、SNSの活用改善や情報モラルに関する指導を継続してほしい。
- ・情報モラル等の授業、啓発活動でトラブルや不幸な出来事に巻き込まれないよう指導をしてほしい。
- ・生命尊重と人権意識の伸長に尽力をお願いしたい。
- ・高校生として学べる幸せを実感できる、感謝できる時間を与えてほしい。
- ・遅刻者への罰則について十分な検討をお願いしたい。
- ・スマートフォンを操作しながら自転車を運転していた生徒を見かけた。マナー指導の強化が必要だと思う。

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立揖斐高等学校

学校番号 19

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する。 (2) 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 (3) 地域社会の向上に貢献できる人間を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇進路指導部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	生徒からは8割以上の「肯定的」な評価を得ているが、保護者の評価は6割にとどまっている。コロナ禍で4月のPTA総会での進路説明会は中止、5月の進路説明会はオンラインでの配信となるなど保護者への情報提供の場が対面ではなかったことが理由であると思われる。校内でのガイダンスの様子はホームページや通信で配信しているが、三者懇談でも進路ガイダンスの感想を生徒の言葉で語らせる手立てを工夫したい。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1) 基礎学力の定着生徒の進路希望 (2) 適性或キャリアアンカーを踏まえた進路実現 (3) コミュニケーション能力の育成	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・各学年会      ・総合的な学習推進委員会 ・企画委員会      ・職員会議      ・校内選考会	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 「揖斐Basic」(1年) (2) 「デュアル実習」(3生) (3) 「進路適性検査」(2・3年生) (4) 「企業&進学ガイダンス」(全学年) (5) 「先輩と語る会」(3年生) (6) 「進路希望調査」(全学年) (7) 「1分間スピーチ」(2年生) (8) 「キャリアプランナー」との面談 (9) 「企業訪問」実施	(1) 基礎学力診断、認定テストによる評価 (2) 取組状況、参加者の意識変化や感想 (3) 保護者懇談等で活用できたか (4) 視野を拓き進路決定につながられたか (5) 一年後、二年後の自分を想像できたか (6) 生徒の実態調査、悩みの把握 (7) 原稿作成時の取組状況、発表会における評価 (8) 保護者懇談会等で役立てることができたか (9) 有益な情報を生徒に還元できたか	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
(1) 基礎学力診断、認定テストによる把握。 (2) 週1回年間20回継続、学習成果発表会で成果を披露 (3) 懇談時に進路について目標を明確にした (4) 企業&進学ガイダンスで視野拡大 (5) 先輩と語る会を実施 (6) 進路希望調査 (7) 「1分間スピーチ」の原稿作成及び発表会を実施 (8) 5月に3年生、10月に2年生全員と面談 (9) 企業とのつながり	(1) 取組状況及び確認テスト (2) 本校職員及び受入企業、参加生徒による評価 (3) 保護者懇談会で進路について相談できたか (4) アンケートの感想分析、全校集会で一部感想披露 (5) 聞き手だけでなく、発表者の成長が見られ、今後につながる活動となった (6) 特に3年生では10回実施、変化や悩みを把握し面談につながった (7) 原稿作成時及び作成した原稿の評価、発表会での評価 (8) 担任に還元、生徒が自分を語れる場を提供 (9) 生徒の進路決定に役立ったかどうか	(1) A B C D (2) A B C D (3) A B C D (4) A B C D (5) A B C D (6) A B C D (7) A B C D (8) A B C D (9) A B C D

11 成果・課題	<p>○「デュアル実習」10名が履修を終え、学習成果発表会では企業の方々を招き見事な発表を披露できた。そのまま内定につながった生徒が4名いた。</p> <p>○「進路希望調査」4月～7月にFormsを活用して3年生で10回実施。揺れ動く進路希望先や悩みを把握し担任に還元することができた。生徒の状況把握度が格段に増し、進路への不安解消に結びついた。</p> <p>○「企業訪問」生徒の第一希望を尊重し、企業側と交渉することで採用枠の増につなげ内定に結び付いた。(3社3校) 訪問は春8社、秋7社 冬8社実施。</p> <p>○「企業&amp;進学ガイダンス」6月に3年生で実施しマッチングした生徒がいた。(4社) 10月11月に2年生で実施。計55ブースを設けた。 各生徒は8ブース×20分、担当者から話を聞き視野を広げた。その感想の一部は全校集会で紹介できた。</p> <p>○「先輩と語る会」3年生は自分の進路実現に対する成功体験を堂々と発表できたと同時に自己肯定感も高まったように見られた。聞き手側の後輩も1年後、2年後の自分の姿と重ね、真剣に耳を傾ける姿が印象的だった。</p> <p>▲校外での進路ガイダンスがコロナ禍で中止になる状況が複数回あった。常に参加できるとは限らない。機会を逃さず来年度も積極的に参加したい。</p> <p>▲コロナ禍、対面で保護者対象の進路説明会を1回も実施できなかった。 来年度は4月末のPTA総会後に何とか実施したい。</p>	<p>総合評価</p> <p>Ⓐ B C D</p>
12	<p>来年度に向けての改善方策</p> <p>(1) 今年度の成果を今後につながるようにマニュアル化したい。</p> <p>(2) 他校の先進的な取組を積極的に取り入れ、生徒に還元できるように努めたい。</p>	

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年 2月 17日

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「デュアル実習」をうける生徒が10名と、昨年に比べて多くなった点について評価できる。</li> <li>・「デュアル実習」を履修した10名のうち4名が内定したのはデュアル実習の成果だと思う。継続して取り組んでほしい。</li> <li>・企業、進路ガイダンスの感想や、将来のビジョンを自ら語るができるようになるとういと思う。</li> <li>・学習成果発表会では、デュアル実習の生徒が社会人基礎力に気付き、しっかり発表できていたと感心した。</li> <li>・学習成果発表会を見学した中学生が感動したと言っていた。</li> <li>・各科、書くコースでの学びを自分の進路実現に繋げようと努力する生徒の姿が、学習成果発表会で多く見ることができた。</li> <li>・進路説明会の中止は保護者にとって不安が大きい。進路決定は生徒の一生にかかわる問題なので、先生と保護者の対面での相談の時間を増やしてほしい。</li> <li>・生徒と保護者の満足度の差が気になる。分析し、問題点を洗い出し必要な対応をしてほしいが、保護者の見解が正しいとは限らないので、学校として方針を決めてほしいと思う。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立揖斐高等学校

学校番号 19

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する。 (2) 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 (3) 地域社会の向上に貢献できる人間を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇特別活動部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・学校行事、部活動、生徒会活動に関する問に対する生徒、保護者ともに肯定的な回答が例年より10%程度低くなり、その分不明が10%近く上昇している。コロナ禍での諸活動の活動休止、規模縮小等がその要因であると予測される。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	1 生徒が自ら考え行動する力を育てる。 2 委員会活動の充実をはかる。 3 部活動への積極的な参加を促す。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・生徒の話し合いの場の設定と研修会の実施。 ・各委員会顧問との連携。 ・各部活顧問との連携と生徒へのはたらきかけ。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 定例の執行部会の開催・リーダー研修会の実施 (2) 委員会活動の活性化と新しい企画・取り組みの検討 (3) 部活動参加の働きかけ。部の活動状況の広報	(1) 生徒の自主的な話し合い・活動がなされたか。 (2) 各委員が活動に積極的に参加するようになったか。 (3) 入部者が部活動を継続できているか。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・毎週1回の生徒会執行部会、長期休業中のリーダー研修会の実施 ・委員会活動への参加を促し、新しい取り組みの検討 ・キャリアパスポートを活用し、HRTが活動状況を把握しやすくする。	① 活発な意見交換、意欲的な活動状況がみられたか。 ② 生徒の委員会活動への参加状況。 ③ HRTと部顧問との連携がなされたか。	A <input checked="" type="radio"/> B C D A <input type="radio"/> B C D A <input type="radio"/> B C D
11 成果・課題	総合評価 A <input checked="" type="radio"/> B C D	
<p>○コロナ禍のため今年度も体育祭は中止としたが、文化祭は開催時期を延期したうえ昨年と同じく規模を縮小して開催した。昨年度の経験を生かし、限られた時間でも種々の企画を運営することができた。</p> <p>○体育館での全校集会の機会はなかったが、オンライン全校集会では工夫を凝らした情報発信をすることができた。</p> <p>○新入生の部活動加入率が70%を超えた。体験入部期間の体験部活動数、体験日数を規定した成果ととらえ、来年度も継続したい。</p> <p>▲昨年同様例年執行部員が担当していた校外でのボランティア活動が全て中止となり、生徒の活躍の場が少なくなったことが残念である。</p> <p>▲新形式での体育祭を計画していたが開催中止となったことで、新形式の問題点・改善点の洗い出しが次年度に持ち越されたことが残念である。</p>		
12 来年度に向けての改善方策案		
<p>・文化祭、体育祭ともに2年連続の休止、規模縮小開催であったため、全学年とも従来の形式での開催が未体験となる。来年度もコロナ対策は継続して必要であろうが、そのなかでもできることの範囲拡大を模索し、情報発信を活発に行い、生徒の積極的な参加を促し、自主的活動の充実をはかりたい。</p> <p>・部活動数は削減されるが、新規入部した生徒が活動を継続していくよう働きかけたい。</p> <p>・生徒数の削減にとまない、生徒会役員の定数、委員会数などの見直しをはかりたい。</p>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月17日

- ・コロナ禍のため、ボランティア活動が中止となり、生徒の活躍の場が少なくなった。揖斐高校の良さを地域にアピールできないのが残念である。
- ・ボランティア活動が「育てたい生徒像」に直結する。来年度期待したい。
- ・生徒の生き方に特別活動が与える影響は大きいので、できる限りの活動を今後も実践してほしい。
- ・体育祭、文化祭など中止や規模の縮小など限られた時間の中で積極的な参加、自主的な活動を行うことで自ら考える力がついたと思う。
- ・コロナ禍で行事の縮小などはやむを得ないと思うが、よく頑張っている。
- ・文化祭、体育祭等の行事にPTA役員も一層支援していきたい。

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立揖斐高等学校

学校番号 19

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する。 (2) 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 (3) 地域社会の向上に貢献できる人間を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇保健安全部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠や食事などの基本的な生活習慣が確立されておらず、学校生活に影響している生徒がいると推測される。</li> <li>・防災教育をオンラインで実施することで、より理解を深めることができた。</li> <li>・感染症について自らの健康を考える生徒が増えた。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保健指導：心身の健康状態を知り、健康増進や体力向上を実践する能力を育てる。</li> <li>② 学校安全：安全に対する意識を高揚させ、留意する態度を育て、自らの判断で避難する能力を身につける。</li> <li>③ 環境整備：環境美化に自主的に協力し、地球規模での環境保全活動に取り組む態度を育てる。</li> <li>④ 危機管理：災害や非常事態に備え、行動マニュアルや用品備蓄の対応を行う。</li> </ul>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保健指導：健康管理に関する指導、学校保健委員会</li> <li>② 学校安全指導：安全点検、各種訓練・研修の実施、防災指導</li> <li>③ 環境整備：清掃活動の指導</li> <li>④ 危機管理：対応に必要な物品の整備、安全確保の指導</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 各種健康診断及び事後指導・保健指導</li> <li>(2) 安全点検・命を守る訓練</li> <li>(3) 美化委員会清掃活動</li> <li>(4) 備蓄品の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療機関受診率の向上、保健室来室者の変化</li> <li>(2) 不具合の対応、訓練状況の向上</li> <li>(3) 清掃取り組み状況の向上</li> <li>(4) 備蓄内容の選定</li> </ul>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各種健康診断の実施及び事後指導、保健指導</li> <li>② 命を守る訓練等による、非常変災時に備えた行動体験、オンラインによる理解を深め意識の啓発</li> <li>③ 美化委員がクラスを中心となり行う、各種作業の実施</li> <li>④ 備蓄品の確認、変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 健康診断後の再検査など、事後指導の結果が向上したと考える。</li> <li>② 訓練や講習会に取り組み、意識や行動が向上したと考える。</li> <li>③ 美化委員を中心に意識をもって美化活動が行われたと考える。</li> <li>④ 災害時を想定し、選定を行った為と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① A <b>B</b> C D</li> <li>② <b>A</b> B C D</li> <li>③ A <b>B</b> C D</li> <li>④ <b>A</b> B C D</li> </ul>
11 成果・課題	<p>○予告なしの訓練や、様々な場面を想定(授業中・緊急地震速報)した訓練を実施し、非常変災時の啓発を行った。(命を守る訓練 4月10月2月 計3回実施)</p> <p>▲治療受診率：歯科 昨年12.8%→今年5.1% 視力 昨年35.2%→今年50.0%(1月現在)</p> <p>昨年と比べると視力の受診率は向上し、目標の50%には届いた。歯科の受診率が著しく低下しており、過去最低となっている。積極的に受診してもらうためにも、対面指導が必要だと考える。</p> <p>▲美化委員会による美化推進の方法をさらに講じる必要がある。</p>	
12 来年度に向けての改善方策案		
総合評価		
A <b>B</b> C D		

- ・視力検査及び歯科検診実施、診断後の治療受診率50%以上を目標とする。対象生徒、保護者への通知を行い、三者懇談でも受診のお願いをしたが未受診の生徒が未だ多い。受診の必要性を意識できるよう声掛けを行う必要がある。担任と連携し、未受診者に対して、再度通知を出す、また状態の悪い生徒については対面での保健指導を強化する。
- ・本校はやや肥満以上も多いが、やせの人数も気になるところである。「食」を自ら考えることができ、健康管理の必要性を意識させたい。
- ・自己判断で安全な行動がとれる能力を育成することを目標にした「命を守る訓練」を実施し、取組結果をフィードバックすることで生徒自身の防災意識を高める。
- ・2年生対象のハザードマップ作りは自身が生活する地域を知ること、身近な問題として考えられるよう工夫し、継続実施する。
- ・美化委員会による掃除状況の点検や、学校敷地内清掃活動を継続し、全校生徒の美化意識を育成する。
- ・新型コロナ感染症対策を継続実施する。慣れてきたこともあり、生徒自身が正しい知識を習得し、自ら考え行動するようになった。自らの判断、行動で自身や家族の健康を守れるよう健康意識を育成する。

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月17日

### 【意見・要望・評価等】

- ・訓練などコロナ感染症対策を行い、生徒の命を守る指導に感謝している。生徒や保護者がそのことを認識し、感謝して日々の生活を送りたい。
- ・睡眠や食事、身体の大切さを生徒自らが考えられるようになるとよい。
- ・歯科検診の受診率が低く、生徒保護者を含めたアプローチの方法を考えてほしい。期限を決めたり、個別に指導したりして、自らの健康にしっかりと目を向けさせたい。
- ・危機管理教育について、特別活動部の課題にもあるように、ボランティア活動と結び付けられるとよい。
- ・防災教育は大切な試みだと思う。コロナ禍だが継続して指導してほしい。
- ・防災意識を高め、地域においても訓練に積極的に取り組める生徒に育てたい。

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立揖斐高等学校

学校番号 19

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する。 (2) 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 (3) 地域社会の向上に貢献できる人間を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇渉外	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携として、 文書わかりやすく伝えている。77.5% 確実に届けられている。74.5%</li> <li>・PTA等の徴収金について詳細に公表している。83%・</li> <li>・一斉メールサービスは有効に活用されている。85%</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇豊かな心を育む「読書センター」、主体的に学ぶための「学習情報センター」として、魅力ある図書館づくり。 ◇保護者への迅速な情報提供として、ホームページやメール配信システム等を有効活用する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA役員会</li> <li>・同窓会理事会、同窓会総会</li> <li>・図書館運営委員会</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 生徒の興味を引きつける図書館広報活動 (2) メール配信システムの活用	(1) 貸出冊数の増加 (2) 学校行事の連絡・報告	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒やPTA活動の情報をよりわかりやすく的確に伝えるために、メール配信システム等を活用し適宜配信することができた。</li> <li>・同窓会理事会は開催を見送ったが、歴代の学年代表の名簿を作成することができた。</li> </ul>	① PTA支援活動等に多くの保護者の協力が得られた。  ② 同窓会関係	A (B) C D A (B) C D
11 成果課題	総合評価 A (B) C D	
12 来年度に向けての改善方策案	○実りのある活動ができるようPTA役員の組織や分担内容を見直す。 さらに生徒減に伴い役員の過度な負担とならないようPTA支援活動を精選する。 ○今後もメール配信システム等を活用しリアルタイムに活動報告を配信する。 ○生徒の興味を引きつける図書館広報活動の方策の検討。	

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月17日

<p><b>【意見・要望・評価等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA役員が一同に集まることができず、活動もできず残念だった。何か生徒のために活動したいと考えている役員がほとんどなので、来年度は積極的に意見交換できるように働きかけたい。</li> <li>・PTA活動については、慣習にとらわれず柔軟で新しい組織作りと活動が求められると思う。</li> <li>・迅速で確実な連絡方法には、メールなどのデジタルによる情報提供が効果的だと考える。全保護者への確実な伝達に努めたい。コロナ禍で十分に図書館の利用ができなかったと思うが、PTA支援活動等、多くの保護者の協力を得られたことは良かった。</li> <li>・図書貸し出し数の増加はすばらしい。</li> <li>・本を読む生徒が他の高校より多いという実態について嬉しく思う。</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立揖斐高等学校

学校番号 19

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する。 (2) 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 (3) 地域社会の向上に貢献できる人間を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇ 専門部 (生活環境科)	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートより</li> <li>・91%の生徒が授業内容に興味をもてた。(R2年度は93%)</li> <li>・授業後更に学びたい生徒83%。(R2年度は88%) 自主的に勉強している生徒が86%。(R2年度は84%) →考えさせる場面を多くとる。家庭生活に結び付ける指導を工夫する必要がある。</li> <li>・ICTの活用で、授業がよくわかるようになったと答える生徒が多かった。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習指導方法の改善、わかる授業の展開、学ぶ習慣を身に付けさせる。</li> <li>(2) 将来に向けて「生きる力」「考える力」の育成を図る。</li> <li>(3) 地域交流・連携を促進する。</li> <li>(4) コンクールや検定・資格取得への挑戦で技術力向上を図る。</li> <li>(5) 学習成果発表会を成功させる。</li> </ul>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科会議での意思統一と情報交換</li> <li>・各分掌・各学年との連携</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 目標の明確化とわかる授業の工夫</li> <li>(2) 授業後の課題、長期休暇・連休課題の提出</li> <li>(3) 幼稚園、中学校、特別支援学校、高齢者施設への実習やボランティア活動の充実</li> <li>(4) 検定等の資格取得・コンクールへの挑戦</li> <li>(5) 学習成果発表会に向けて継続的な取組、中間発表等による評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 目標達成についての生徒による自己評価</li> <li>(2) 提出物の評価</li> <li>(3) 生徒の振り返り、地域からの意見により判断</li> <li>(4) 3年間で家庭科技術検定1級合格、介護職員初任者研修修了、コンクール入選</li> <li>(5) 事後アンケートの集計結果</li> </ul>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わかる授業の工夫」を各自で研修した。</li> <li>・未提出物をなくすための粘り強い指導をした。</li> <li>・科目「課題研究」「子どもの発達と保育」等の専門科目で、各コースの特徴を活かした実習に取り組んだ。</li> <li>・ボランティア活動は今年度全て中止した。(コロナ)</li> <li>・検定やコンクールの指導を放課後や早朝に実施した。コンクールの中止が多かった。(コロナ)</li> <li>・外部講師による講習会を実施した。介護職員初任者研修を継続した。調理に関する講習会は1月から中止した。(コロナ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒の自己評価、授業アンケート</li> <li>②提出物の状況</li> <li>③実習後の感想・反省の内容、施設からの聞き取り結果</li> <li>④検定の合格率、コンクール入賞者</li> <li>⑤生徒の感想、テストによる評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A (B) C D</li> <li>A (B) C D</li> <li>A (B) C D</li> <li>(A) B C D</li> <li>(A) B C D</li> </ul>

11 成果 ・ 課題	<p>○ICTを取り入れた授業の充実を図った。</p> <p>○提出物の期限内提出率が悪い。→ 未提出者の放課後指導をした。</p> <p>○行事を実施後ホームページに掲載し、PRを充実させた。</p> <p>○揖斐川町やJAいび川、地域との連携（アスナ、みわ屋、弓削銘水堂、揖斐川町図書館、NPO法人山菜の里いび、いび森のようちえん）により、コロナ禍ではあるが商品開発や地域に貢献できることを実践した。その結果生徒に達成感を持たせることができた。</p> <p>○「はなもも」での学習成果発表会は、保護者・来賓を制限したが、在校生は全員参加できた。</p> <p>▲全てのボランティア活動、幼稚園での実習が中止になった。（コロナ）</p> <p>▲検定に意欲的に取り組ませ、多くの生徒を合格させることができた。</p> <p>合格率：洋服1級42%（71%）、洋服2級91%（100%）、被服3級78%（79%）、被服4級100%（100%）、食物1級94%（97%）、食物2級79%（69%）、食物3級78%（87%）、食物4級100%（100%）、編物2級13%（43%）、編物3級44%（42%）。保育1級希望者71%（未受検）、保育2級91%（53%）、保育3級91%（100%）、保育4級100%（100%）であった。（ ）内はR2年度の%。</p> <p>○コンクールに、延べ7名が入賞を果たした。（R2年度も7名）</p>	<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>
12	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領がいよいよ入学生から施行される。今年度末に計画したものの見直しをしながら実践し、授業改善に努めたい。</li> <li>・開設2年目となる保育コースの授業計画等を見直し、改善に努めたい。</li> <li>・教員の技術習得をめざし、科内での研修会を実施し研鑽を積む。</li> <li>・学習成果発表会への取組をさらに充実したものにする。</li> <li>・地域に根ざした揖斐高校の活動を継続実施する。</li> </ul>	

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月17日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・揖斐高校の将来を担う重要な科だと思う。生徒の満足度が高いのは、教員の努力の賜物だと思う。引き続き知恵を出し合い盛り上げてほしい。</li> <li>・地域との連携活動は達成感のみならず郷土を愛する心を育成する、なくてはならない活動だと思う。</li> <li>・町内の事業所や施設における実習、ボランティア活動は、揖斐高校が大切にしている教育活動である。今後もさらなる充実、継続を期待する。</li> <li>・学習成果発表会では、取り組んできた成果を発表できる場であり、生徒にとって達成感を感じられる場でもあった。成功体験は大切だと感じた。</li> <li>・検定などの資格取得、学習成果発表会に向けての取り組みなど、授業時間外の指導に感謝している。</li> <li>・生徒が達成感を持ち、自信をもって卒業できるように指導を継続してほしい。</li> <li>・商品開発、JAでの試食、販売など事前にもっと地域へのアピールができるとよい。生徒の頑張りを地域の人々に知ってもらいたい。</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

岐阜県立揖斐高等学校

学校番号 19

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する。 (2) 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 (3) 地域社会の向上に貢献できる人間を育てる。		
2 評価する領域・分野	◇第1学年		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に学年集会や身だしなみ指導を行うことで、生徒自身、ルールを守らなければいけないという意識付けができた。</li> <li>エアコンやICT機器等、学習しやすい環境が整い、生徒の学習意欲の向上につながることを期待したい。</li> <li>進路ガイダンスや外部講師による講演会など、授業以外の様々な学習の機会を設け、生徒の進路実現の幅を広げた。</li> </ul>		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身に付けさせる。</li> <li>仲間と協調しながら、充実した学校生活を送れるよう図る。</li> <li>学習習慣を確立するとともに、基礎学力を獲得させる。</li> </ul>		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導部と連携し、問題が生じた際に迅速に対応した。</li> <li>学年団で情報を共有し、生徒との関りを密にした。</li> </ul>		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 学び直しの科目としての揖斐Basicを計画的に取り組み、基礎学力を獲得させる。 (2) 基本的な生活習慣の徹底、授業規律を守るようにする。	(1) 長期休業中の課題提出状況、定期考査・課題テスト等での得点結果。 (2) 教科担任からの授業評価、学年集会や講演会での生徒観察。		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業など学習への取り組みと、揖斐Basicによる基礎学力の定着</li> <li>定期的な学年集会、長期休業後の身だしなみ指導</li> <li>挨拶や時間厳守、言葉遣いなど社会性の育成と情報モラルに関する指導</li> </ul>	①生徒の状況観察と情報収集	A <input checked="" type="radio"/> B C D	
	②学校行事などの取り組み状況の検証	A <input checked="" type="radio"/> B C D	
	③定期考査などの成績状況、教科担任による評価	A <input checked="" type="radio"/> B C D	
11 成果課題	<p>○学年団の教員が情報を共有し、生徒との関りを密にしたことで、問題行動への抑止力になった。</p> <p>○不定期ではあったが学年集会を行い、身だしなみ指導等を実施したことで、3年目となる制服をしっかりと着こなしている。</p> <p>▲揖斐高校で何を学ぶのか。また、学んだ後、どういう進路を歩むのかを考えさせたい。ただ何となく学校生活を送り、進路実現の目標を持ってない生徒が多いため、安易に学校を休む傾向がある。</p>		総合評価 A <input checked="" type="radio"/> B C D
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路ガイダンス等を充実させ、将来の夢を持たせる必要がある。</li> <li>将来の夢を叶えるため、今何をしなければいけないのか考えさせ、日々の学校生活をどう送ればいいのかをさらに深く考えさせる。</li> </ul>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月17日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エアコンやICT機器など、学習しやすい恵まれた環境が整っている。</li> <li>揖斐Basicによる基礎の学びなおしは良いことだと思うので継続してほしい。</li> <li>現在の制服をきちんと着こなしているの、地域の人々の評判もいいのではないと思う。</li> <li>充実した学校生活を送らせるためにも、将来の夢や目標を1年生のうちから明確にさせたい。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 生徒との関わりを密にし、将来のキャリアアンカーを自らが考えられる取り組みをしてほしい。
- 基本的な生活、学習習慣を身に付けさせることに主眼を置いた方針と取組に大賛成。難しい状況が続くが、頑張ってもらいたい。
- 学べる幸せを、自分たちがどれだけ恵まれているかを実感させる指導をしてほしい。
- 学習を通してわかる、できる、高まる喜び、体験を通して知る、人とつながる、人に喜んでもらえる喜びを味わうことができれば、生徒は自ら学び、考え、行動するようになる。

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立揖斐高等学校

学校番号 19

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する。 (2) 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 (3) 地域社会の向上に貢献できる人間を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇第2学年	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等で学校の様子を把握したり、保護者の悩みや相談の対応への肯定的な評価が多い。</li> <li>・将来の進路決定、自己実現のための指導を評価されている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策への取り組みについて、肯定的な評価が多い。</li> <li>・学校からの連絡文書等、紙媒体のものが保護者の手元に届いていない</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 集団生活の中で、思いやりの心を養い、社会適応力やコミュニケーション能力を身に付けさせる。</li> <li>2. 学習意欲、態度の向上を図り、基礎学力を身に付けさせる。</li> <li>3. 進路について研究し、自分の適性を考え具体的な目標を考える。</li> </ol>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会などで生徒情報を共有し、正副担任全員で指導に当たる。</li> <li>・各分掌と連携を取り、迅速な対応を心掛ける。</li> <li>・家庭と学校が連絡を密に取り、生徒の成長を促進する。</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校行事に主体的に参加させ、集団の中での役割を自覚させる。</li> <li>(2) 学力の定着を図るために、家庭学習を習慣化させ、課題提出を厳守する意識を持たせる。</li> <li>(3) LHRや学年集会等で、社会で必要とされる能力を身に付けさせる。</li> <li>(4) 進路ガイダンス等を効果的に活用し、自分の進路について考える機会を増やす。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒会や部活動の参加状況</li> <li>(2) 未提出物調査、生徒の状況観察、教科担任との情報交換</li> <li>(3) 出席状況、身だしなみ検査結果、学年団での情報交換</li> <li>(4) 進路希望調査、個別懇談、進路ガイダンス参加状況</li> </ol>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の資質に応じた能力の育成</li> <li>・マナー指導による社会性の育成</li> <li>・LHRでの進路研究、進路ガイダンス実施</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①学校行事への取り組み状況の検証</li> <li>②身だしなみ検査、生徒観察</li> <li>③生徒観察、情報収集</li> </ol>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p>
11 成果	<p>○進路学習では、進路ガイダンスとして多くの企業、各種学校関係者を招き、説明会を2回に分けて実施した。積極的に参加し、質問するなど自分の進路実現に向けて前向きに取り組めた。</p> <p>○リーダーとして責任ある仕事に意欲的に取り組む生徒が見られた。</p> <p>▲生活習慣の乱れから欠席や遅刻が多い生徒がいるため、家庭と連携しながら今後の生活改善、進路実現に繋げていきたい。</p> <p>▲家庭学習や未提出課題等、基礎学力の定着を継続して指導していきたい。</p>	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会や部活動など、個々の能力を発揮できる機会をより多く設ける。</li> <li>・進路決定・自己実現に向け、身だしなみや学習意欲など早期の段階で意識付けさせる。</li> </ul>	

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月17日

【意見・要望・評価等】

- 学校からの連絡文書などが保護者の手元に届いていないというのをよく聞くので、HPに掲載するだけでなく、メール配信システムを使用してはどうか。保護者が参加する学校行事があるということを保護者に知ってもらえるのではないか。
- 将来の自分の姿や、卒業時の自分の姿をイメージさせ、自ら進んで生活改善や進路決定に取り組める生徒、学年集団を育てたい。
- 生徒との関わりを密にし、社会人基礎力、将来のキャリアアンカーを自らが考えられる取組をしてほしい。
- 1年時の指導が生き、全体として将来を見据えた活動ができているという印象である。できるだけ取りこぼしのないよう、生徒への配慮も感じられる。

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立揖斐高等学校

学校番号 19

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する。 (2) 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 (3) 地域社会の向上に貢献できる人間を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇第3学年	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育目標を理解し、意欲的に学習している。</li> <li>・保護者・生徒とも一斉配信メールを有効に活用している。</li> <li>・連携型中高一貫教育として、もっと地域へのアピールが必要だ。</li> <li>・オンライン授業の実施で、生徒の学習理解を支援している。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防対策に協力的だ。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ キャリア教育の推進と進路実現の達成</li> <li>◇ 社会で生きる力の育成</li> <li>◇ 最高学年としての自覚・態度の育成</li> <li>◇ 連携・協力体制に基づく指導</li> </ul>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正担任・副担任そして教科担任・部活動顧問との連携</li> <li>・校務分掌との連携</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業と家庭学習を軸にして学力をつけ、基本的な生活態度の育成する指導</li> <li>(2) 総探学習・LHR・放課後等を活用して進路目標を達成する指導</li> <li>(3) 学校の核として、部活動や学校行事への主体的な参加を促す指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 成績概況、課題の提出状況、出欠状況、退学・転学者数、迷惑調査、身だしなみ検査、ファイル指導等の観察</li> <li>(2) 面接指導報告書、教員間の情報交換</li> <li>(3) 活動日数、出席率、表彰、学校内外行事への積極的な参加</li> </ul>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年団、教科担任との情報交換と連携</li> <li>・進路や出欠席等に関する保護者との連携</li> <li>・面接・作文の指導、懇談、情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①成績概況、教科担任による評価</li> <li>②出欠状況、身だしなみ、進路達成状況</li> <li>③面接指導報告書、小論文指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A B C D</li> <li>A B C D</li> <li>A B C D</li> </ul>
11 成果課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のため学校行事が中止・延期となったが、実施できた行事には積極的に参加し、最高学年としても役割を十分に果たせた。</li> <li>○ 一般常識や適性検査など、オンラインを活用して実施し、個々のよりよい進路実現を目指して取り組むことができた。</li> <li>○ 学年団と生徒指導・進路指導と情報を共有することで、様々な指導に早期対応できた。</li> <li>▲ 連携型中高一貫教育として、連携校の中学校だけでなく、地域の人にも本校の取り組みを発信できる方法を工夫する必要がある。</li> </ul>	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉配信メールが有効に活用されていることから、生徒指導や進路指導など保護者向けの情報を発信し、保護者の不安感を払拭していきたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防をしながら、学校内外での活動を増やし、生徒が充実した学校生活を送れるよう工夫していきたい。</li> </ul>	
	総合評価 A B C D	

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月17

日

### 【意見・要望・評価等】

- ・学習成果発表会を通してエイトの頑張り、教員指導の成果みることができた。連携校以外の中学校や地域の人に揖斐高校の取組を知ってほしい。
- ・高校3年間の半分以上をコロナに振り回されたにも関わらず、学習成果発表会では確実に成長した姿を見ることができた。
- ・コロナ禍の難しい環境の中、先生方がしっかり指導されたことが学習成果発表会からうかがえた。成長を感じられた生徒も多かった。
- ・育てたい生徒像の具現化を目指してさらなる継続指導をしてほしい。
- ・生徒との関わりを密にし、社会人基礎力、将来のキャリアアンカーを自らが考えられる取組をしてほしい。